

第49回

The 49th Tokyo Society for Stoma Rehabilitation
日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会地方会

東京ストーマリハビリテーション研究会 プログラム・抄録集

テーマ

みんなで支える排泄障がい



日時

2017年9月9日(土) 10時~16時30分

会場

青梅市役所

当番世話人

持田 裕子 青梅市立総合病院 看護局

東京ストーマリハビリテーション研究会
会長：船橋 公彦

第 49 回東京スーマリハビリテーション研究会 学術集会開催にあたってのご挨拶

このたび、第 49 回東京スーマリハビリテーション研究会学術集会の当番世話人を仰せつかり、2017 年 9 月 9 日土曜日に、青梅市役所にて開催することとなりました。本研究会を開催するにあたり、演題を応募していただいた皆様、教育講演、パネルディスカッションでご講演をいただく講師の皆様、ならびに各セッションの座長・司会の方々には、本研究会の趣旨をご理解いただき、ご快諾いただきましたことを、深く感謝申し上げます。

第 49 回のテーマは、「みんなで支える排泄障がい」といたしました。今回のテーマの「みんな」とは、人やデバイス、また体制など「排泄障がい」を支援する取り組みそのものと考えております。地域包括ケアシステムの実現に向けて、「排泄障がい」をオストメイトの問題だけではなく高齢化が進む現代において、加齢に関して誰もが経験する可能性のある身近課題に取り組んでまいります。ご講演や演題発表、企業展示などを通して、どのように「排泄障がい」を理解し、向き合えばよいのか、様々な角度からより深く自立を支えるための多くの示唆が得られる内容となる企画に努めました。

近年、男性第 3 位、女性第 1 位の罹患率が高い大腸がん(国立がん研究センター、2016)のなかで、直腸がんの低位前方切除後症候群による排泄障害に悩まされる患者が少なくありません。また、排尿障害の一つである下部尿路症状は、加齢とともにおきる機能低下の一つとして完治しえない問題でもあります。教育講演では、講師の先生方から、排泄障害で悩む方々へのアプローチ方法をご教授いただく予定です。

さらに、オストメイトが在宅で安心して生活できる支援体制の一つとして、現在、介護職によるスーマ装具交換が可能となっています。パネルディスカッションでは、各専門の立場から、現在どのようにオストメイトの生活が支援されているかの実情を提示していただき、課題や今後の方向性を見つめます。

本研究会が、スーマリハビリテーションに携わる医療スタッフにとって有意義なものとなり、「排泄障がい」を有する患者さんの well-being に貢献できますように、運営スタッフ一同最善を尽くす所存でございます。多くの皆様方のご参加を心よりお待ち申し上げます。

第 49 回東京スーマリハビリテーション研究会

当番世話人
青梅市立総合病院 看護局
持田裕子

第 49 回東京ストーマリハビリテーション研究会学術集会

当番世話人:持田裕子(青梅市立総合病院 看護局)
会 期:2017年9月9日(土)
会 場:青梅市役所 1階 ロビー
2階 会議室および行政コーナー
主 題:みんなで支える排泄障がい

ご参加の皆様へ

1. 開場および受付開始は9時からです。
2. 参加費 3,000 円を参加者受付でお支払いください。
3. 研究会中は必ず参加証を着用して会場にご入場ください。
4. 教育講演(ランチョンセミナー)では、**200名様分**のお弁当をご用意いたします。
5. 建物内・敷地内は全て禁煙となっております。
6. 2階のトイレはすべて女性用とさせていただきます。男性は、1階をご利用ください。
7. 日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会認定士の更新ポイント(0.5pt)になります。
8. 会場内で写真撮影することをご了承ください。尚、写真は当研究会の関連する会議学会等の他
当院ホームページでの催事報告等に使用する場合があります。

演者の皆様へ

- 発表方法 : 発表はすべて PC を用いた発表となります。ソフトウェアは Windows 版 PowerPoint2013 です。動画・音声の使用は不可とします。
- 発表時間 : 発表時間は、一般演題は 1 題につき 6 分、討論 2 分、パネルディスカッションは 1 題につき 8 分です。時間厳守でお願いします。
- 演者受付 : ご自分の発表 1 時間前までに演者受付を行った後、PC 受付にて発表データの確認をお願いいたします。発表 15 分前までに次演者席へご着席ください。
- 二次抄録 : 本研究会の発表内容を日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会誌に掲載いたしますので、PC 受付に二次抄録の原稿とメディア(USB または CD-R)を提出してください。二次抄録は演題名、演者名、共同演者名、所属を含め 400 字以内で図表は入れられません。字数は厳守してください。

座長の皆様へ

- 受 付 : ご自分の担当開始 30 分前までに座長受付まで必ずお越し頂き、連絡事項をご確認の上、担当開始 15 分前に次座長席へご着席ください。

PC プレゼンテーション発表に関するご注意

1. パソコンの OS は、Windows7 です。
2. プレゼンテーションソフトは、Windows 版 PowerPoint2013 です。それ以外のバージョンで作成の方は、2013 で開く保存形式でお持ちください。
3. 使用するフォントは特殊なものではなく、PowerPoint2013 に設定されている標準的なフォントをご使用ください。標準以外のフォントは、保存オプションでフォントを埋め込んでください。
【日本語】MS ゴシック、MSP ゴシック、MS 明朝、MSP 明朝
【英語】Century、Century Gothic
4. 事前にウィルスチェックをお願いいたします。
5. データは、タイトル「演題名、氏名」記載の上、USB または CD-R に保存頂き、当日お持ちください。
(念のため、バックアップ用の USB メモリーをご持参願います)
6. お預かりしましたデータは当研究会が責任を持って消去致します。
7. ご自身のノートパソコンを持ち込んでのご発表はできません。

東京ストーリーリハビリテーション研究会 AWARD について

東京ストーリーリハビリテーション研究会での学術領域での発展、オストメイトの QOL 向上のための研究活動促進を目的に、一般演題部門から「最優秀演題賞」「優秀演題賞」を選定いたします。選定は研究会当番世話人によって行われます。受賞者には閉会式にて賞状および記念品の贈呈を致します。

★東関東ストーマ・排泄リハビリテーション研究会交流企画★

昨年度より東関東ストーマ・排泄リハビリテーション研究会との交流事業を企画しております。今回は、昨年 11 月開催された東関東ストーマ・排泄リハビリテーション研究会での優秀演題賞に選出された演題を発表していただきます。皆様実臨床に還元されることを願います。

施設会員の入会について

本研究会に施設会員として入会を希望される方は、この抄録集にある要綱をご参照の上、お申込みください。

会 議

幹事会 日時：2017 年 9 月 9 日（土） 9：00～9：50
会場：2 階 201 会議室

世話人会 日時：2017 年 9 月 9 日（土） 13：05～13：50
会場：1 階 ロビー
※ランチョンセミナー後の開催です。お間違えないようご出席ください。

第 49 回東京ストーリーリハビリテーション研究会学術集会に関するお問い合わせ

青梅市立総合病院 看護ケアサポートセンター 内
〒198 - 0042 青梅市東青梅 4 - 16 - 5
TEL：0428 - 22 - 3191（内線 6920） / FAX：0428 - 25 - 1854
E-mail：tsr49th@mghp.ome.tokyo

会場までの交通のご案内

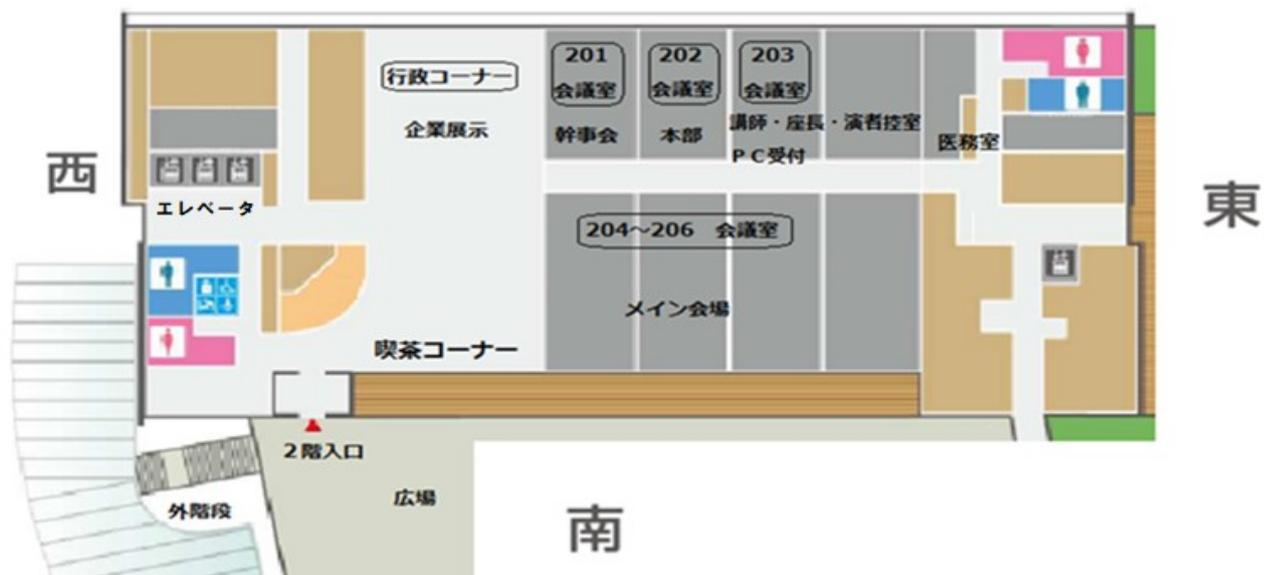


会場のご案内



2階

北



7階

北



プログラム

開会挨拶 10:00～10:05

当番世話人：持田裕子（青梅市立総合病院 看護局 看護師長）

一般演題 I 10:05～10:55

座長：小島 豊（順天堂大学 下部消化管外科 准教授）

工藤 礼子（国立がん研究センター中央病院 看護部 副看護師長）

1. ケアマネジャー対象のストーマケア研修を開催してみえた課題12
清野 美砂
一般社団法人清風の会 けやき通り訪問看護ステーション
2. 多部署で作成したストーマ連携シートによるストーマリハビリテーションの推進13
明石 奈緒子、吉富 若枝、櫻井 京子、小峰 陽子、田村 絵里、山岸 瑠衣子
関口 理絵、富田 綾乃、中村 久美
荻窪病院 看護部
3. 繰り返し便が漏れる患者の解決への過程
～排便時にストーマが腹壁に引き込まれて変形する症例～14
明神 葉子¹、小野寺 彩¹、福島 奈津子¹、山崎 一樹²、飯高 さゆり²
¹青梅市立総合病院 看護局、²青梅市立総合病院 外科
4. 当院における排便障害チームの立ち上げ15
甲田貴丸¹、船橋公彦¹、長嶋康雄¹、保刈 伸代²、斎藤 容子²、
守口 淳子²、長嶋泰子³、古田雅³
¹東邦大学医療センター大森病院 消化器外科
²東邦大学医療センター大森病院 看護部 皮膚・排泄ケア認定看護師
³東邦大学医療センター大森病院 栄養部
5. 大腸癌の高齢統合失調症患者と家族の意思決定に複数の医療チームが協力した一例16
明石 靖子¹、野村 智美²、石倉 菜子³、高野 省吾⁴
¹青梅市立総合病院 看護局、²元青梅市立総合病院 看護局、
³青梅市立総合病院 精神科、⁴青梅市立総合病院 総合内科
6. ストーマ管理困難に対し皮膚吊り上げ法が有用であった1例17
河合 雅也¹、青木 順¹、高橋 里奈¹、柳沼 行宏¹、高橋 玄¹、小島 豊¹
五藤 倫敏¹、武部 詩保里²、坂本 一博¹
¹順天堂大学 下部消化管外科
²順天堂大学 看護部

休憩 10:55～11:05

教育講演 I	11:05～11:55
排便障害の診断と治療～直腸癌術後の排便障害をテーマに～	25
座長：正木 幸善（青梅市立総合病院 診療局長）	
講師：味村 俊樹（医療法人三慶会 指扇病院 副院長 排便機能センター長）	
お弁当配布(休憩)	11:55～12:10
教育講演 II (ランチョンセミナー)	12:10～13:00
下部尿路障害の包括的ケア	29
座長：船橋 公彦（東邦大学医療センター大森病院 一般・消化器外科 教授）	
講師：西村 かおる（NPO 法人日本コンチネンス協会 会長）	
共催：パラマウントベッド株式会社	
休憩	13:00～14:00
一般演題 II	14:00～14:50
座長：相澤 卓（東京医科大学八王子医療センター 泌尿器科 講師）	
伊藤 美智子（東京山手メディカルセンター 看護部 看護師長）	
7. ★東関東ストーマ・排泄リハビリテーション研究会交流企画★	
2016年11月開催、第19回 東関東ストーマ・排泄リハビリテーション研究会	
優秀演題賞 報告	
A 病院において排尿自立支援開始後の評価	18
茅野 昌子、古澤 奈緒子	
独立行政法人地域医療機能推進機構 船橋中央病院 看護部	
8. 病棟所属の排尿ケアチーム専任看護師から見た	
自部署における排尿自立支援の現状と課題	19
曾根原 聡美 ¹ 、工藤 礼子 ¹ 、安達 淑子 ¹ 、黒澤 翔 ² 、松井 嘉之 ³	
¹ 国立研究開発法人 国立がん研究センター中央病院 看護部	
² 国立研究開発法人 国立がん研究センター中央病院 リハビリテーション科	
³ 国立研究開発法人 国立がん研究センター中央病院 泌尿器科	
9. 排泄障害を在宅療養で支えるための新たな取り組み	
～骨盤臓器脱に対する知識・技術の普及～	20
平山 千登勢 ¹ 、持田 裕子 ¹ 、明石 奈緒子 ¹ 、松村 佳世子 ¹ 、河口 志乃 ¹ 、青木 真由美 ¹ 、	
工藤 礼子 ¹ 、古川 純子 ¹ 、谷口 珠実 ²	
¹ 創クラブ世話人、 ² 山梨大学大学院 健康・生活支援看護学講座	
10. ストーマ外来を兼務する病棟看護師のストーマケアに関する自己評価	21
細川 未来 ¹ 、中山 由佳 ¹ 、持田 裕子 ¹ 、松井 あけみ ¹ 、岩浪 千恵子 ¹	
¹ 青梅市立総合病院 看護局	

11. 胸腰椎硬性コルセット使用患者に対するストーマサイトマーキング	22
溝口 麻里、佐々木 由美子 国立病院機構村山医療センター 看護部	
12. 認知機能が低下したストーマ造設患者の在宅に向けた支援	23
鈴木 裕介、滋野 幸絵 公立阿伎留医療センター 看護部	
休憩	14:50～15:10
パネルディスカッション	15:10～16:10
みんなで支えるオストメイト	33
座長：渡邊 成（人間総合科学大学 人間科学部 健康栄養学科 教授） 持田 裕子（青梅市立総合病院 看護局 看護師長） 演者：平山 千登勢（杏林大学医学部附属病院 看護部 師長補佐） 清野 美砂（一般社団法人清風の会 けやき通り訪問看護ステーション 管理者） 原 孝司（医療法人社団和風会 梅の園訪問看護居宅介護支援センター 主任介護支援専門員） 草野 正義（青梅市 健康福祉部高齢介護課 包括支援係長）	
閉会	16:10～16:30
次期当番世話人会告 次期当番世話人：相澤 卓（東京医科大学八王子医療センター 泌尿器科 講師）	
AWARD表彰 当番世話人：持田 裕子（青梅市立総合病院 看護局 看護師長）	
事務局連絡・閉会挨拶 研究会会長 船橋公彦（東邦大学医療センター 大森病院 一般・消化器外科 教授）	
懇親会	17:00～19:00
会場：7階 レストラン	
東京ストーマリハビリテーション研究会 幹事会	9:00～9:50
会場：2階 201会議室	
東京ストーマリハビリテーション研究会 世話人会	13:05～13:50
会場：1階 ロビー	
市民公開講座	14:30～15:30
排泄の悩み解消講座	39
座長：板橋 道朗（東京女子医科大学 消化器・一般外科 教授） 講師：西村 かおる（NPO 法人日本コンチネンス協会 会長）	

タイムテーブル

	1 階		2 階					
	受付	ロビー	201 会議室	203 会議室	204～206 会議室 メイン会場	展示会場		
9:00	9:00 -15:00 参加者 受付		9:00 -9:50 幹事会	9:00- PC受付				
10:00			中継 会場			10:00-10:05 開会の挨拶	10:00 -15:30 企業展示	
						10:05-10:55 一般演題 I		
11:00						10:55-11:05 休憩		
					11:05-11:55 【教育講演 I】 排便障害の診断と治療 ～直腸癌術後の 排便障害をテーマに～			
12:00			11:55-12:10 お弁当配布					
			12:10-13:00 【教育講演 II】 ランチョンセミナー 下部尿路障害の 包括的ケア					
13:00			13:05-13:50 世話人会		13:00～14:00 休憩			
14:00			14:00- 市民公開 講座受付		14:30-15:30 【市民公開講座】 排泄の悩み 解消講座	中継 会場	14:00-14:50 一般演題 II	
15:00							14:50-15:10 休憩	
	15:10-16:10 【パネルディスカッション】 みんなで支えるオスメイト							
16:00	参加者 アンケート 回収	15:30-16:00 梅っこ体操		16:10-16:30 次期当番世話人会告・ 表彰・閉会の挨拶				
17:00								
17:00～懇親会は、7階レストランにて開催								

※研究会本部:202 会議室